

<p>奈良市</p> <p>手をつなぐ親の会だより</p>	NO 350	平成29年3月10日(金)
	発行 会長 所在地	奈良市手をつなぐ親の会 小西 英玄 〒631-0801 奈良市左京5-3-1 奈良市総合福祉センター内 Tel 0742-71-0770 http://naraoyanokai.jp/
		

平成28年度もあと1か月

奈良市地域自立支援協議会の山下会長（大谷大学教授）から、「最近の当事者団体はおとなしく（弱く）なったと感じる」と会議の席で発言がありました。

確かに、言われるまでもなく自ら感じています。

当事者団体だけではなく、すべての福祉関係者に言える事かも知れません。

現行の制度に“疑問”は持たないのでしょうか？

もし、疑問を持ったとしても“おかしい”と感じないのでしょうか？

そして、おかしいと感じても 従うのでしょうか？

障がい者の世界、おかしいことがいっぱいありません？



何 故

地域に住まなければ、いけないの？ *好きな処で住ましてや～*

自立しなければ、ならないの？ *自立してない大人いっぱいいるやん。*

頑張らなければ、いけないの？ *頑張っているふりをしている大人いっぱい知っているよ*

生活保護以下の障害基礎年金で生活しなければならぬの？ *それで自立はないやろう～*

親が元気なのに、入所・グループホームにいかなければならないの？ *友達と一緒に住みたいのに、法律でできない事があるの？*

行政が私たちの住む場所（入所施設）を減らすの？ *福祉計画で定めているからね*

地域の理解もないのに、地域で住まなければいけないの？ *地域福祉計画があるから大丈夫*

『第21回春咲きコンサート』がまもなく開催します。

親の会の会員の皆様には、21年間ご支援いただき 本当にありがとうございます。

地区懇談会で、「いつまで続けるのですか」という質問もありました。

5年後10年後の奈良市の福祉を考えると、我が子たちの将来を考えると、決して良い状態になるとは思えません。

法人間格差・事業者間格差が、今以上に明らかになると考えられます。そして、調整機能が無くなるでしょう。

今一度、当事者団体の底力を見せつける時かもしれません。

その一つが『春咲きコンサート』です。多くの方に声をおかけください。

一緒に 行きましょう！！ 活きましょう！！ と。